

児童・生徒に対する声かけ・不審者事案等対処方法メモ

☆ 犯罪の発生状況（一般論）

- 1 時間帯… 15時ころ～17時ころ（帰宅後、友達の家・公園・塾・買い物）
- 2 場所…道路、公園の他、駅・店舗、駐輪場 等
- 2 対策…危険個所を把握（チェック）し、地域ぐるみで対策をとる。

① ポイント（繰り返し教えること）

- 1 危険な所には近づかない
- 2 知らない人にはついていかない
- 3 家に一人でいる時はドアを開けない

② 帰宅編—車から声を掛け連れ去ろうとする場合

×危険なケース

直ぐに車に乗り込む

○対処方法

友達と帰る

車が近づきずらいガードレール・歩道を歩く

車から声を掛けられたら、2・3歩下がり相手から離れ手を掛けられな

いようにする

何を言われても「わかりません」とはっきり言って直ぐ逃げる

ゴミが多いところ、落書きの多いところはなるべく通らない

（人通りが少ないため）

③ 遊び編—一人になった時に声を掛け連れ写真を撮ろう誘う場合

×危険なケース

直ぐについていく

○対処方法

友達と一緒に帰る

誘われたらはっきり「いやです」と断る

木が多いところ、人通りの少ない公衆トイレに気をつける

（周りから見えにくいから危ない）

怖い、しつこい場合は、大声を出す、防犯ブザーを鳴らし等して走って逃げる

近くに人に知らせる

④ 帰宅（自宅に入る）編—一人に入って侵入しようとする場合

×危険なケース

周りを気にせず家に入る

○対処方法

鍵は首に掛けない（不審者に家に誰もいないことを教えている）

（チェーンやひもをつけ落とさないようにし、見立たないところに持つ）

オートロックの場合、周囲を確認してから入る。

ドアが閉まるのも確認する。

玄関ドアも、周囲を確認してから開けて入る。

入ったら、直ぐに鍵を掛ける。

⑤ 帰宅（自宅に入る）編—一緒にエレベータに乗ってこようとする場合

エレベーターに乗る場合、知らない人と2人きりにならない。

「お先にどうぞと先に行かせる」

非常ボタンの近くにのり、次のが多いところ、人通りの少ない公衆トイレに気をつける

⑥ 留守番編（ルールを作っておく）

誰が来ても出ない

ドアは閉めたまま返事をし、「後にして下さい」と言う

電話は留守番電話にしておく

家族に連絡する

◎ 保護者へのお願い

① 子供の行動範囲を把握する。（直ぐ対処できるよう）

② 誰とどこに遊びに行くか言うように癖をつける（保護者からも聞く）

③ 防犯ブザーを持たせる

（学校だけでなく、塾・遊びに行く時も持たせる。

目立つところ、直ぐに使えるところに持つ。使い方・電池の確認をする。）

④ 帰る時間を決めておく。（直ぐ対処できるよう）

⑤ 近所の人に子供と一緒に「こんにちわ」とあいさつをする。

（顔を覚えてもらう）

⑥ 危険な場所を一緒にチェックする

（人通りが少ないところ、夜暗く明かりが少ないところ、落書き放置されたままのところ、人の目が行き届かないところ）

⑦ 何かあったら助けてくれるところを確認しておく

（子ども 110 番の家、お店等）